



学園都市とお姉様は
私が守りますの！

とある科学の
超電磁砲
レベル

第六話：七月十九日①

原作：鎌池和馬
作画：冬川 基

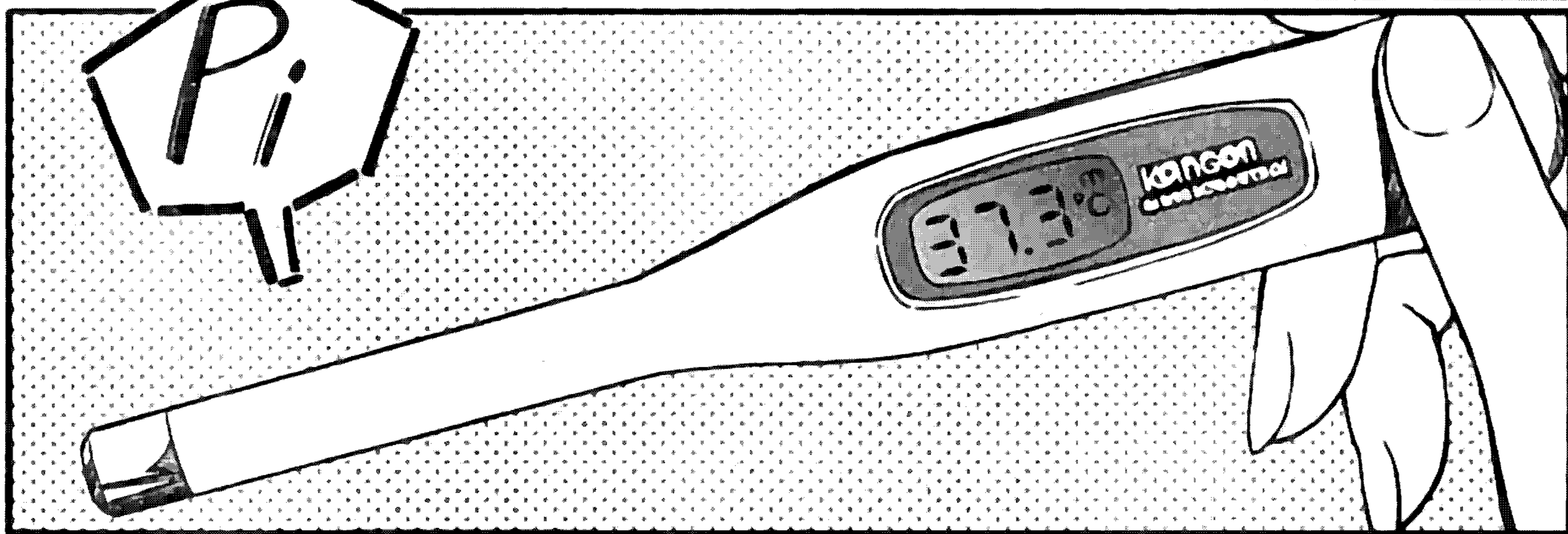
キャラクターデザイン：灰村キョウカ

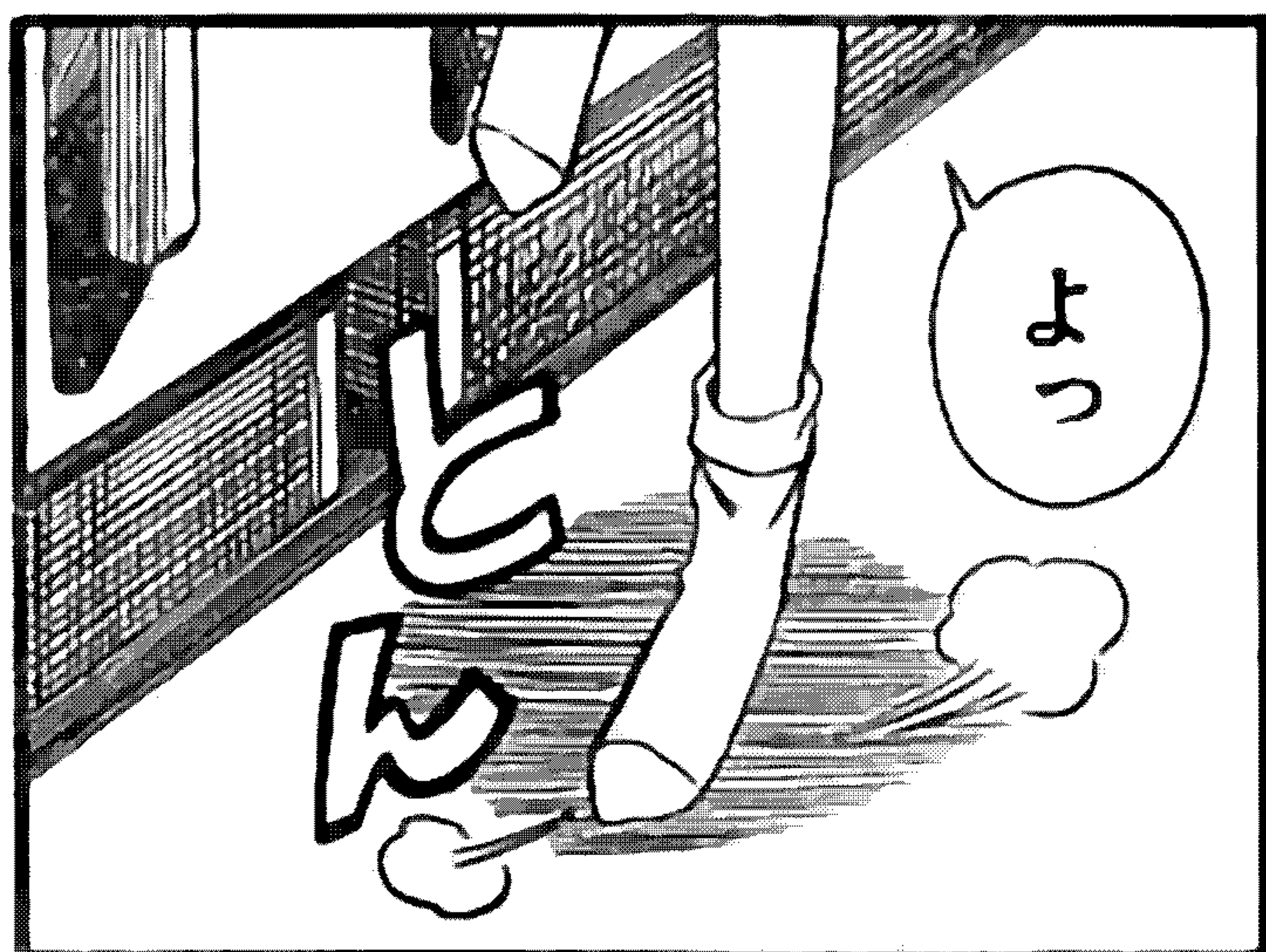
白井黒子(大能力者)

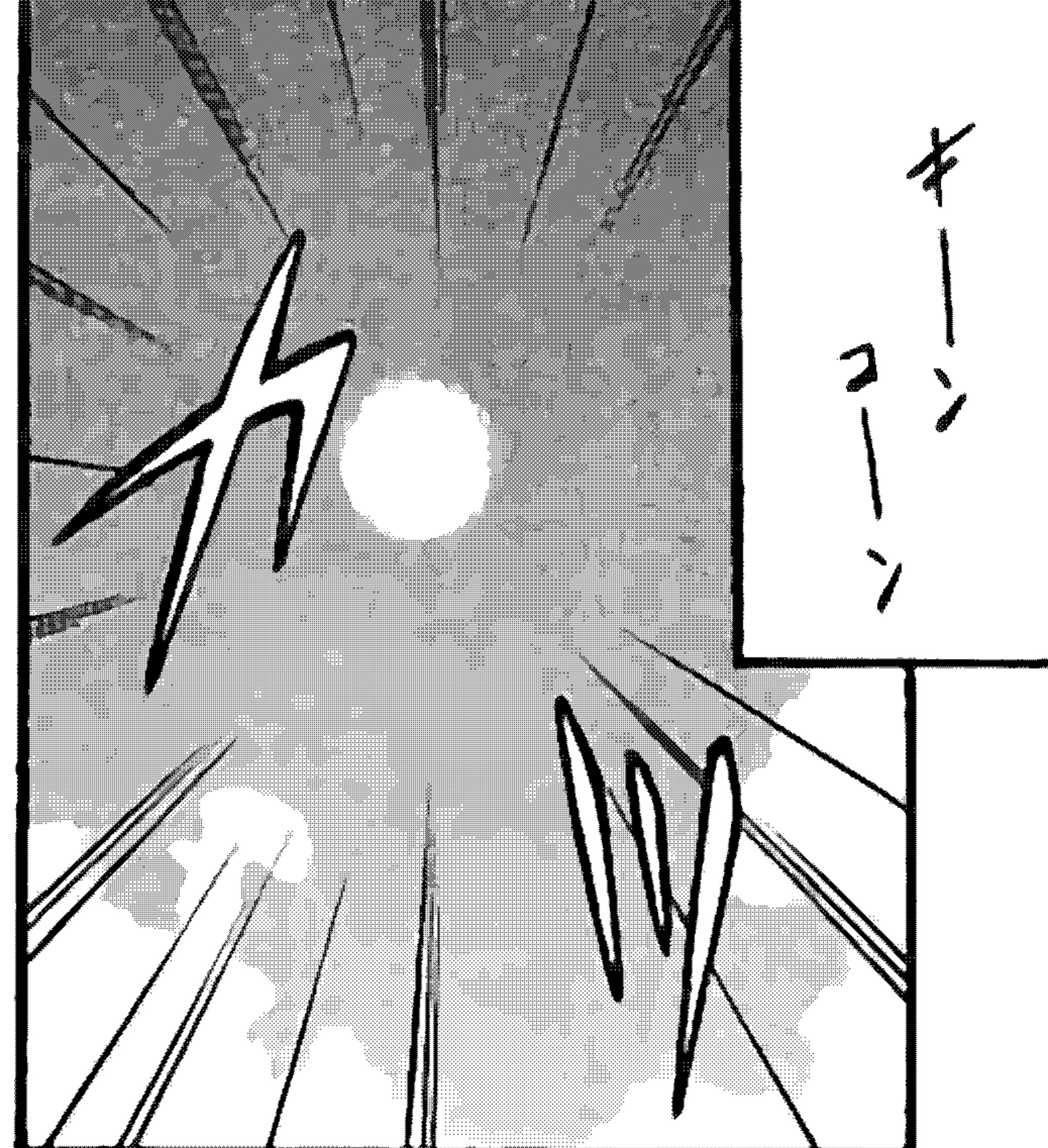
- 学園都市の名門・常盤台中学の一年生で風紀委員。美琴のルームメイト。
- 美琴の事を『お姉様』として慕っており、過激な愛情表現で美琴に迫る。
- 茶髪でツインテール。胸は控えめ。独特のお嬢様口調で話す。
- 手に触れた物を瞬間移動させる空間移動能力者。他の能力より計算が複雑で不安定であるため、集中が乱れると使用不能になってしまう。
- 風紀委員の管轄は校内なので、黒子がよく行っている学外での治安維持活動は実は越権行為。第一話の後は始末書を書かされている。

あらすじ

人口三〇万、そのうち八割を学生が占める『学園都市』は、他地域より数十年前科学技術が進み、超能力開発がカリキュラムに組み込まれている特殊な研究都市である。その『学園都市』の住人であり、七人しかいない『超能力者』の一人でもある中学生、御坂美琴はその能力と性格のため、『学園都市』特有の事件に次々と巻き込まれていく――









気温自体は
変わらないのに
風鈴の音色を
聞くと少し涼しく
感じますの



不思議なもの
ですわね

お客様と
同じものを

イチゴと……
黒子は？



あー

共感性って
やつね

？



でも
赤系の色を視たら
暖かく感じたり

青系の色を
視たら
冷たく感じたり



一つの刺激で
二つの感覚を得る事よ

例えば普通色を視たら
人間の脳みそって
五感の内視覚のみを
得るわけじゃない

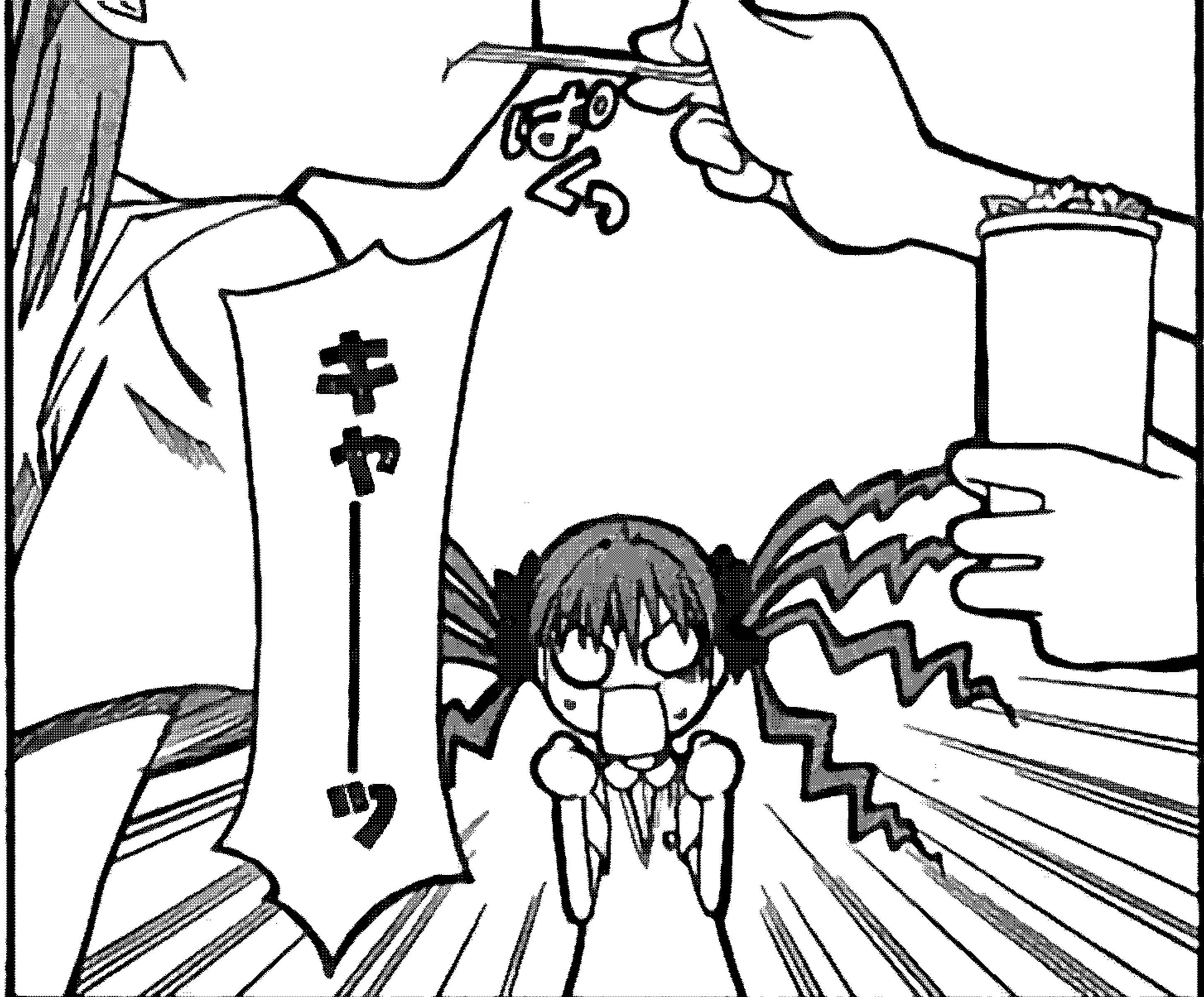


視覚以外にも
影響があるでしょ

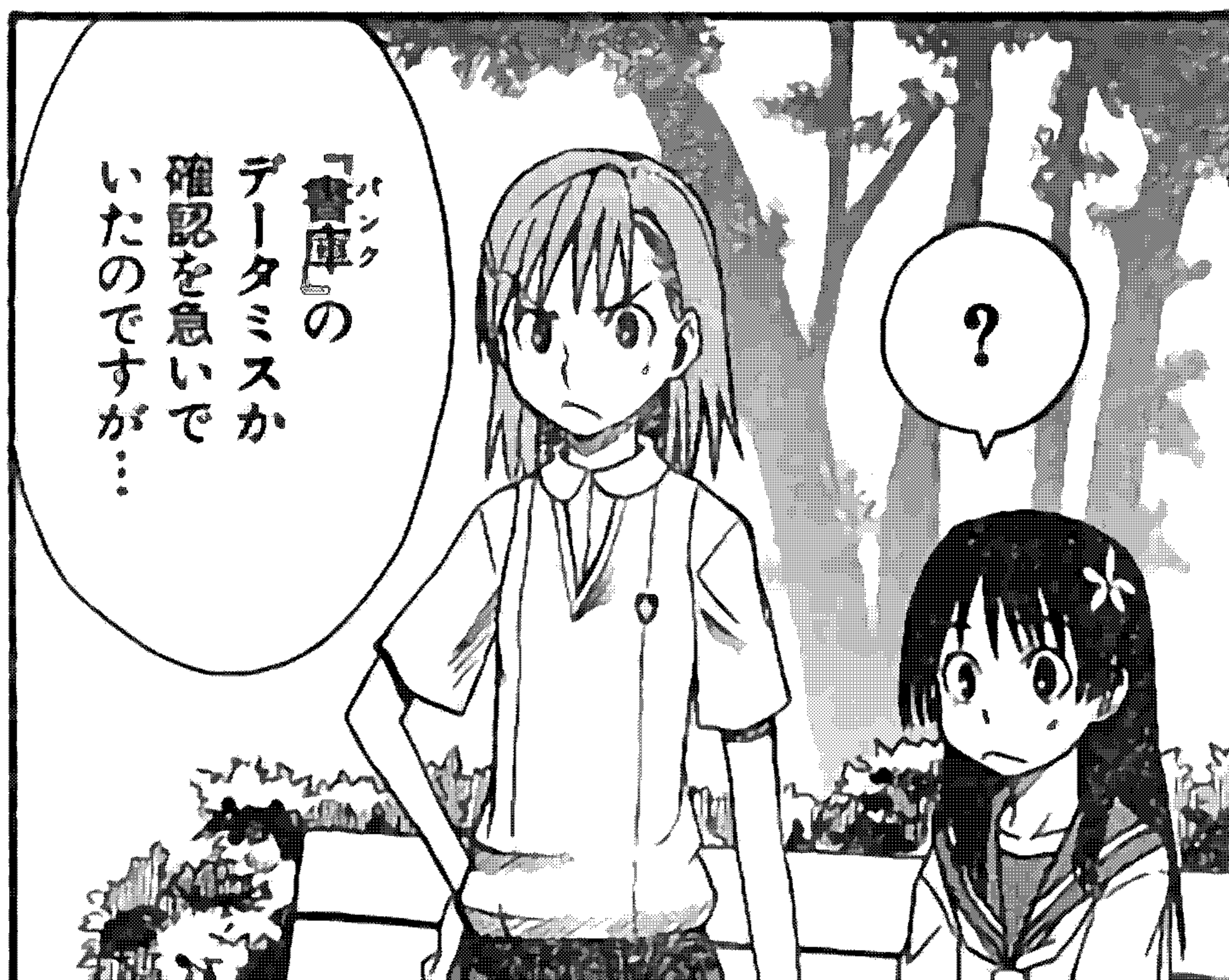
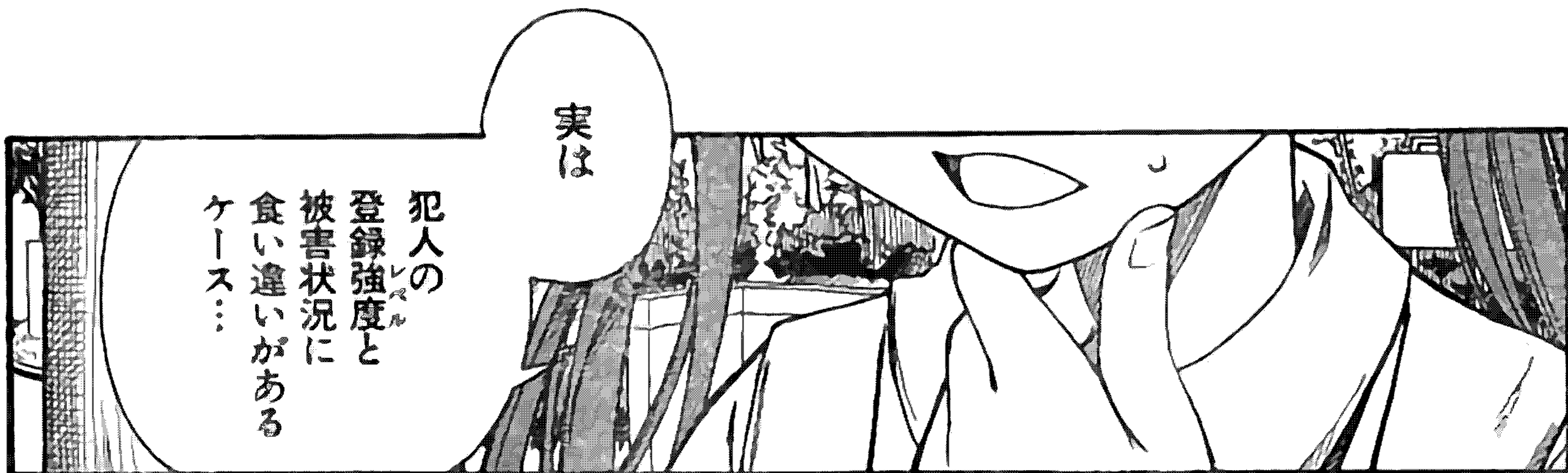
「暖色」「寒色」
というもの
ですわね

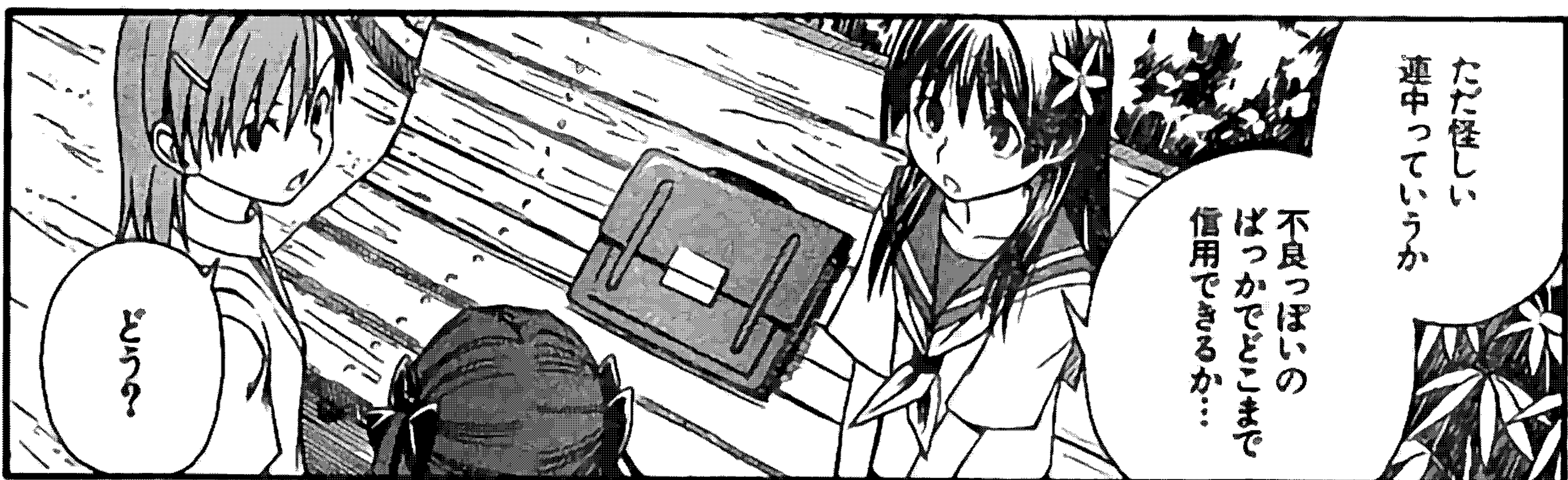


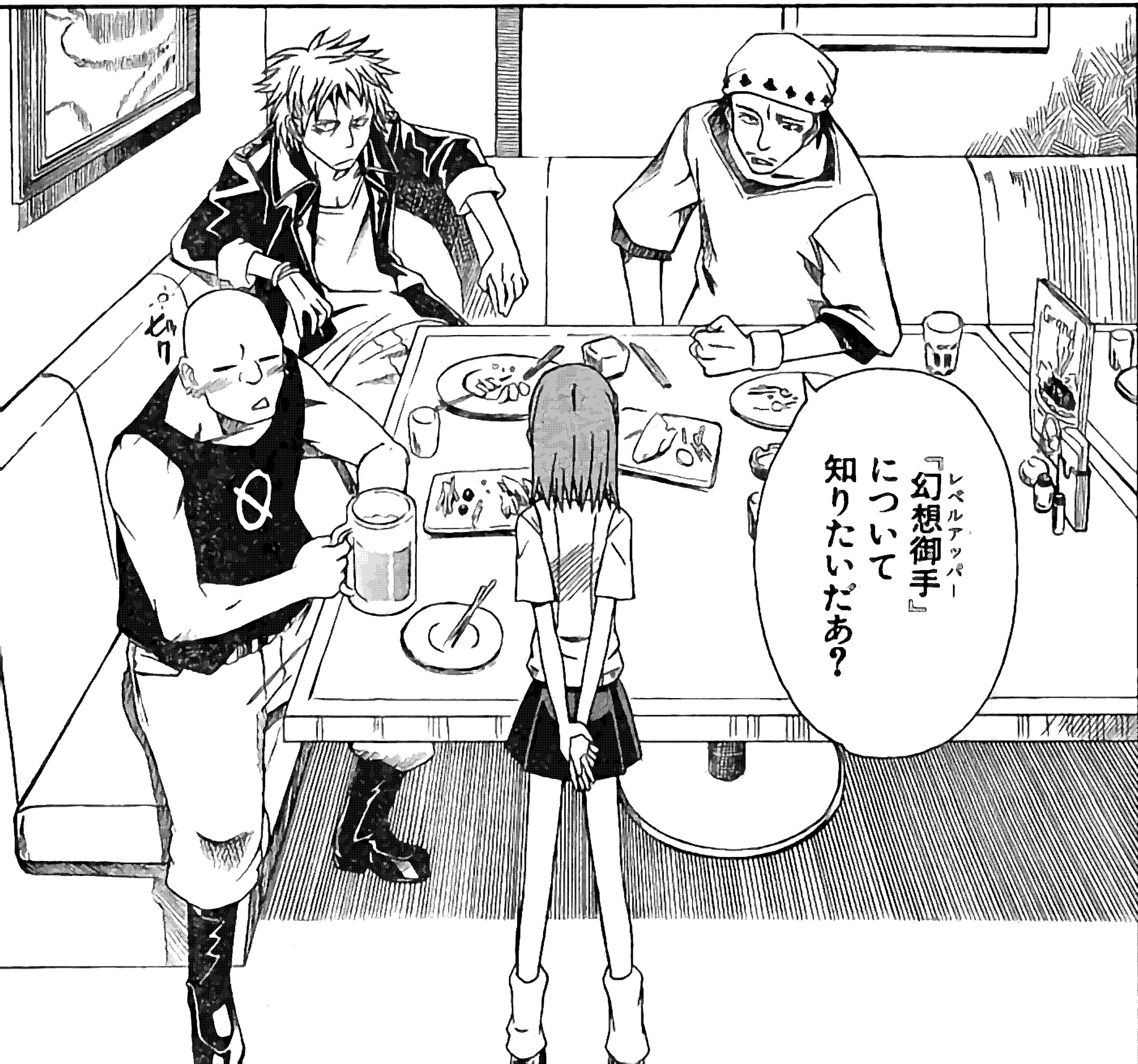


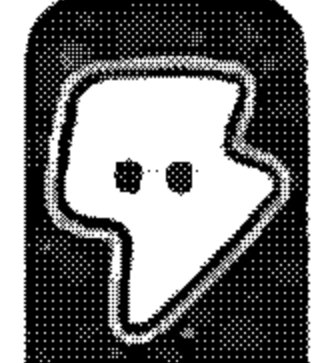












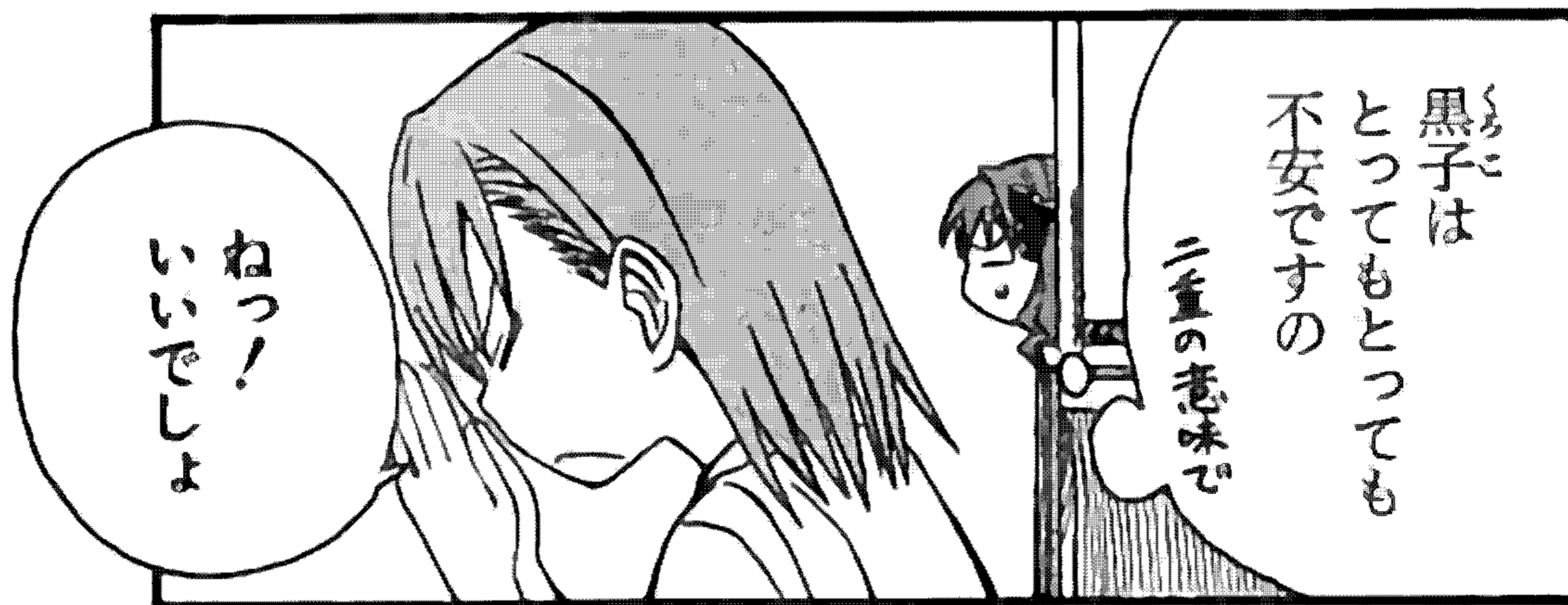
電撃15年祭

DENGOKI 15th ANNIVERSARY

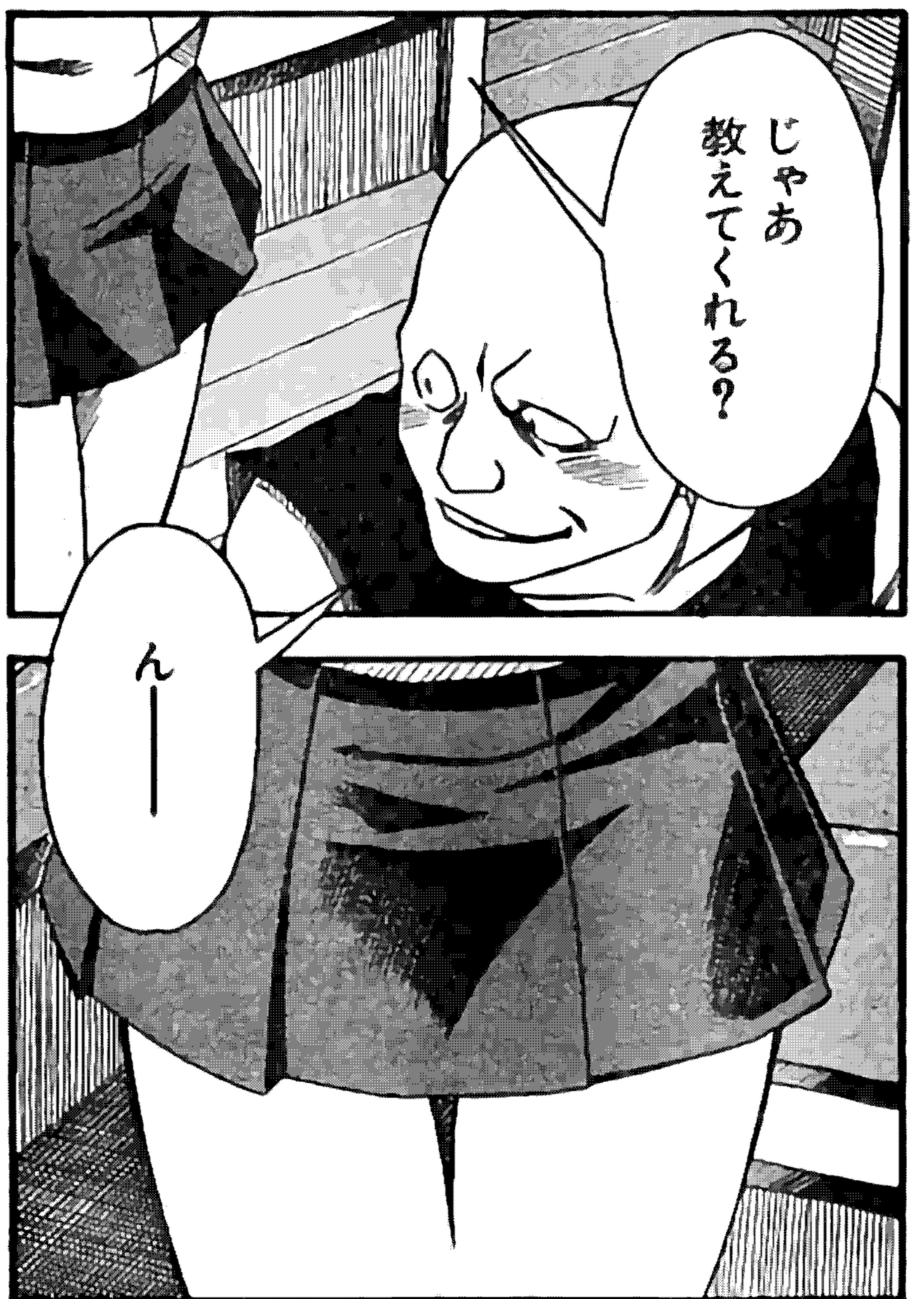
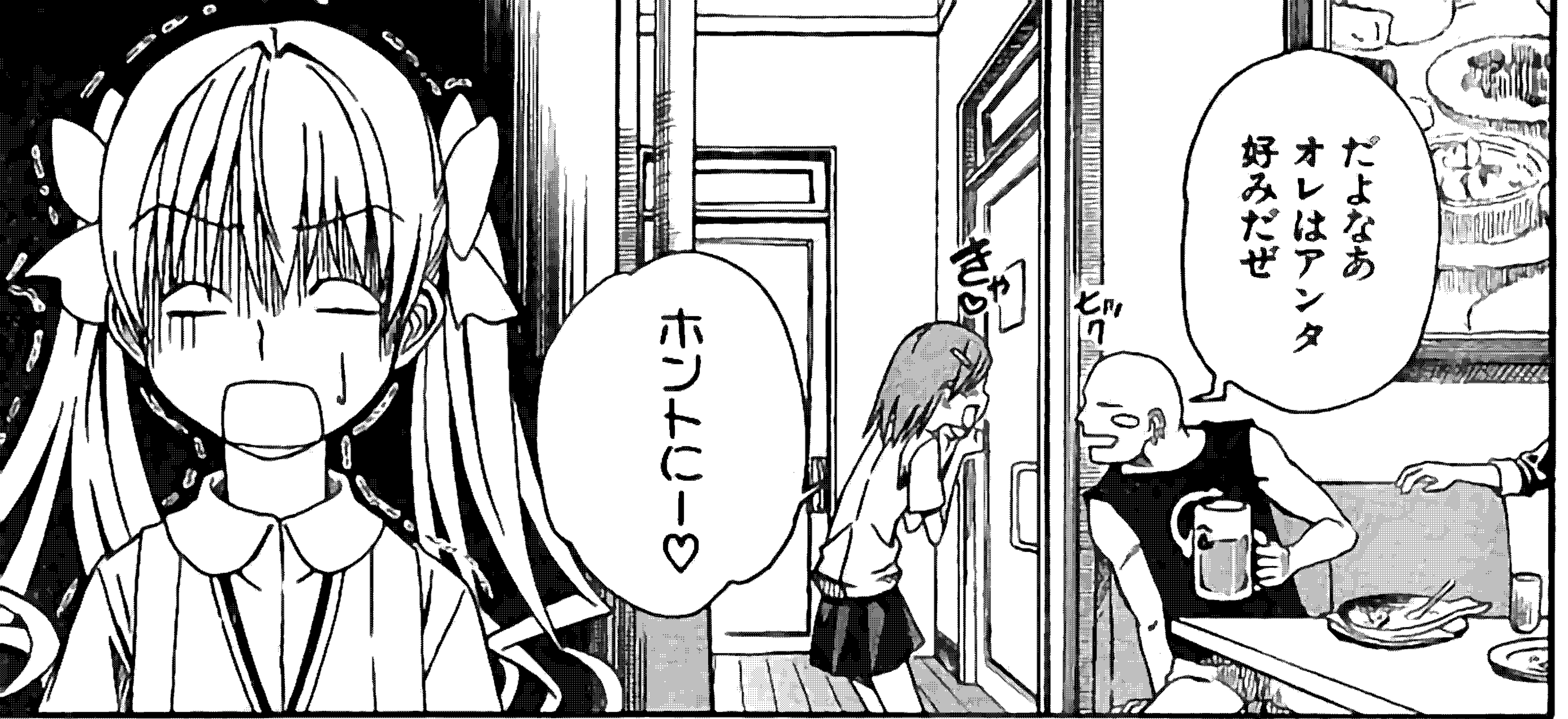
11月24・25日に専断メッセ

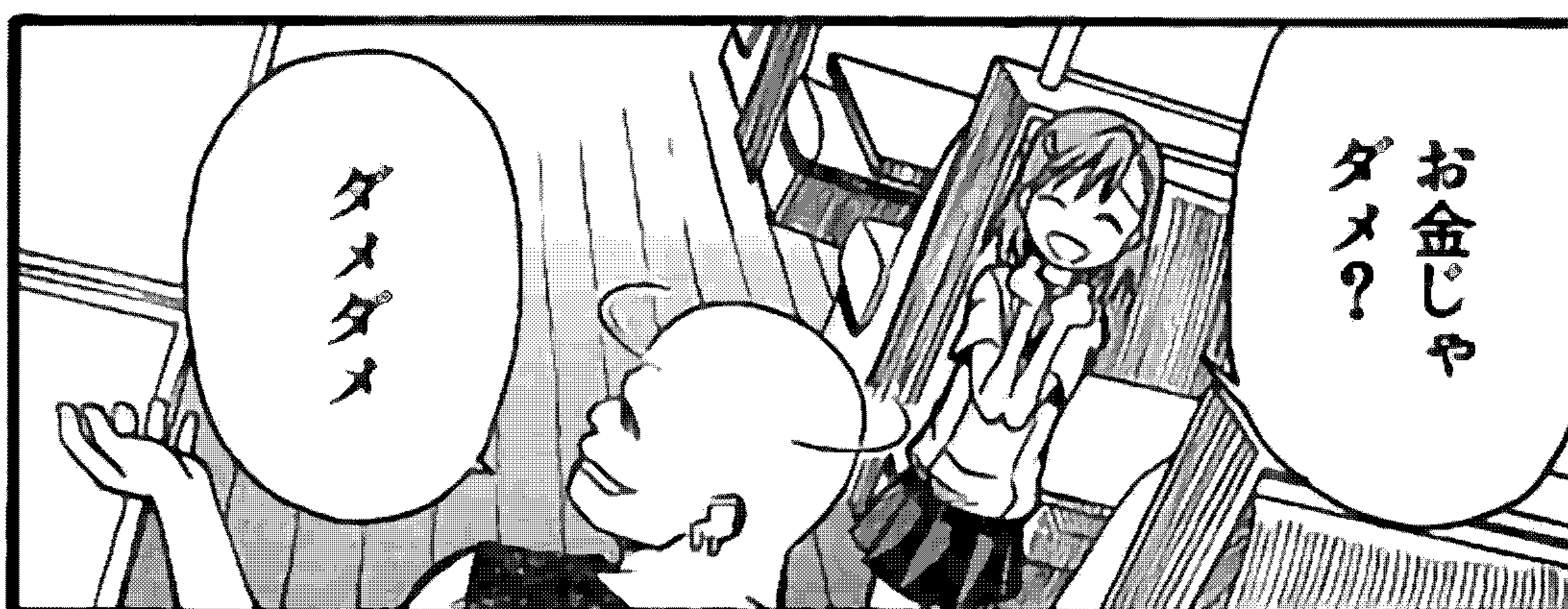
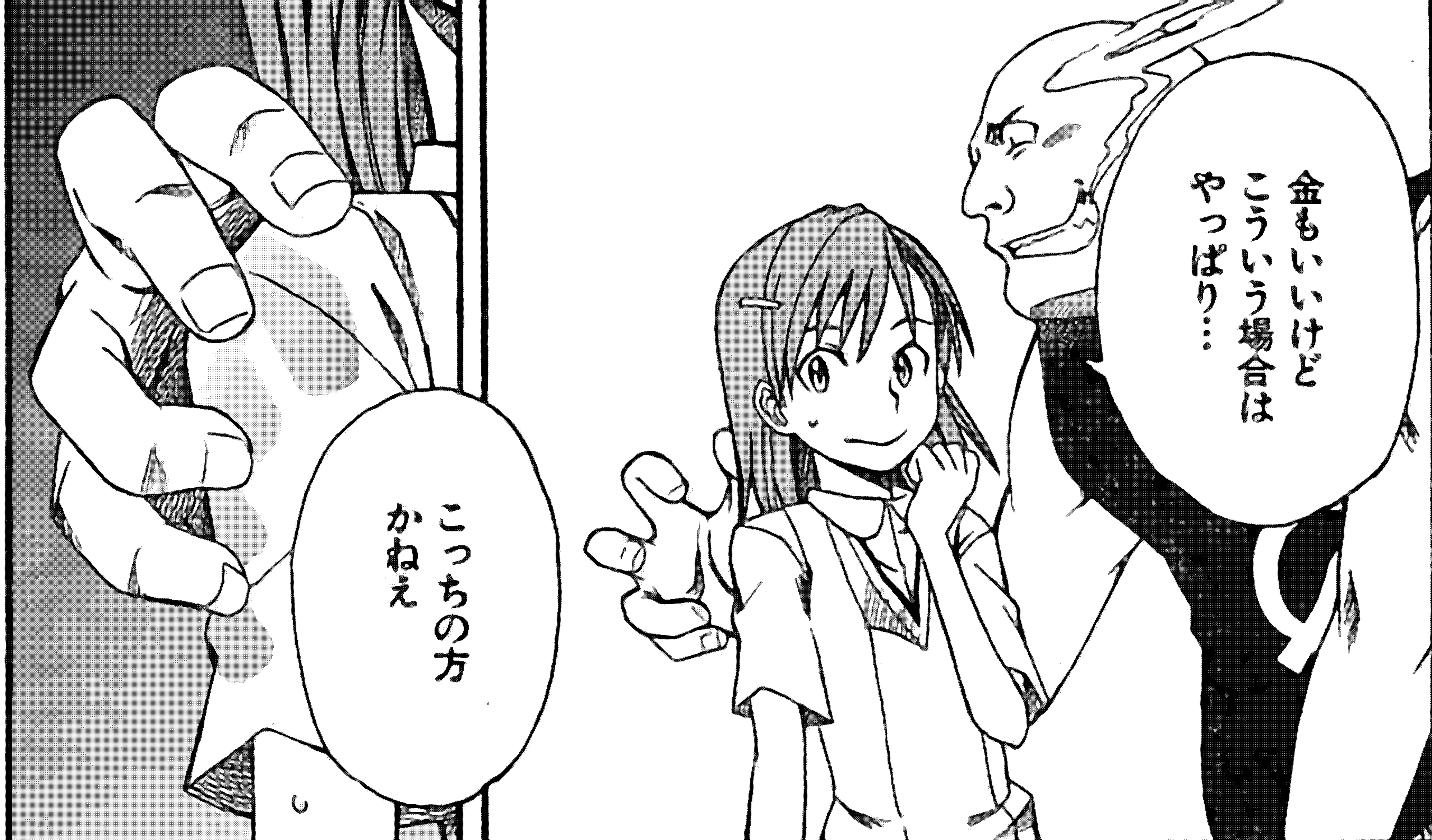


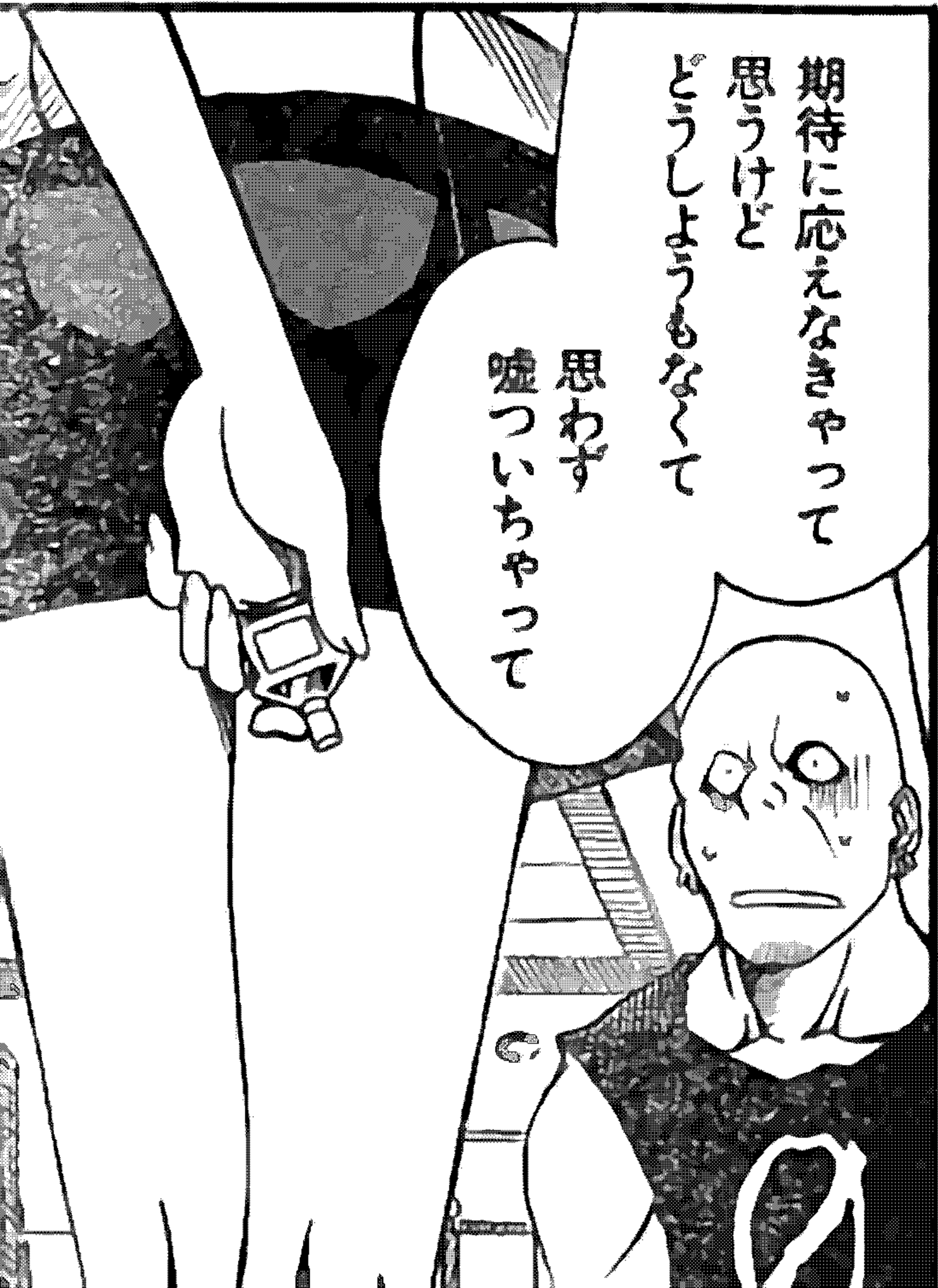
とある科学の超電磁砲

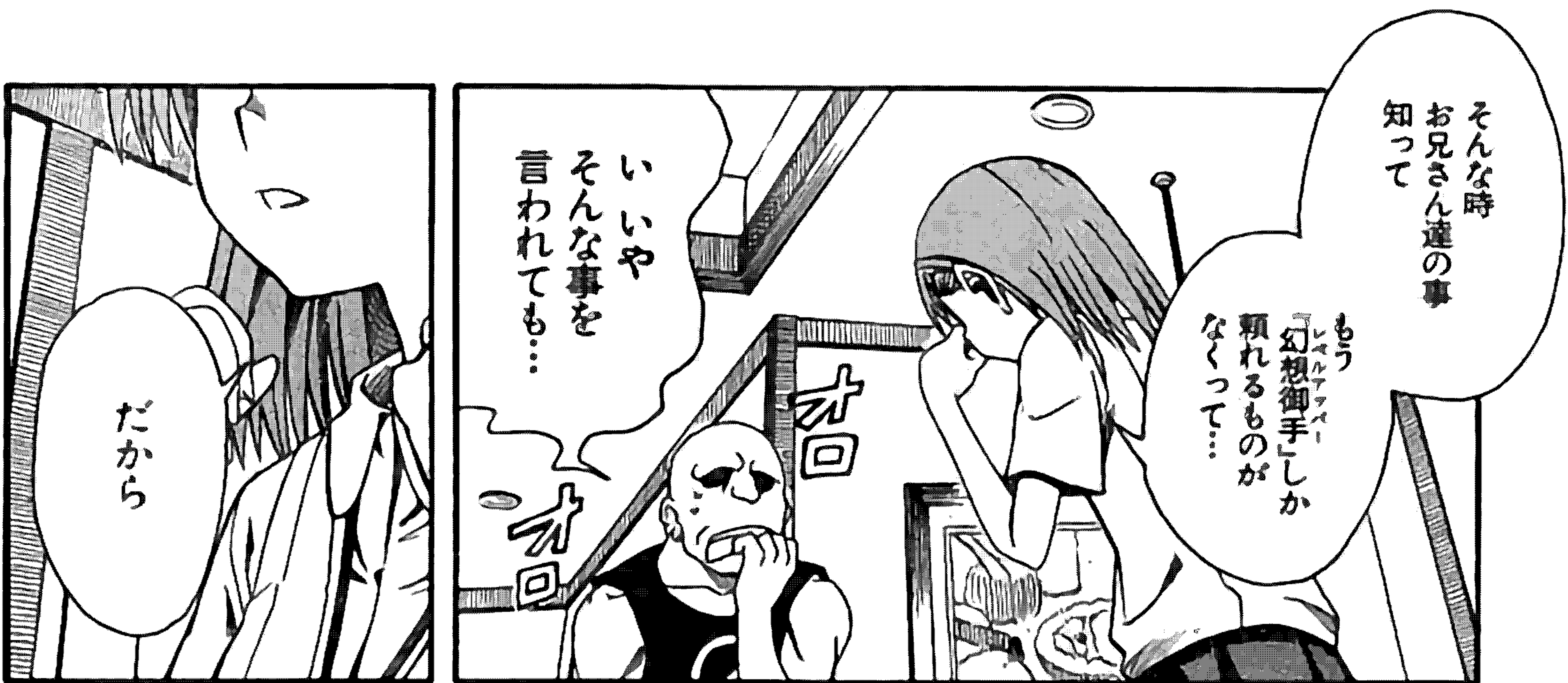








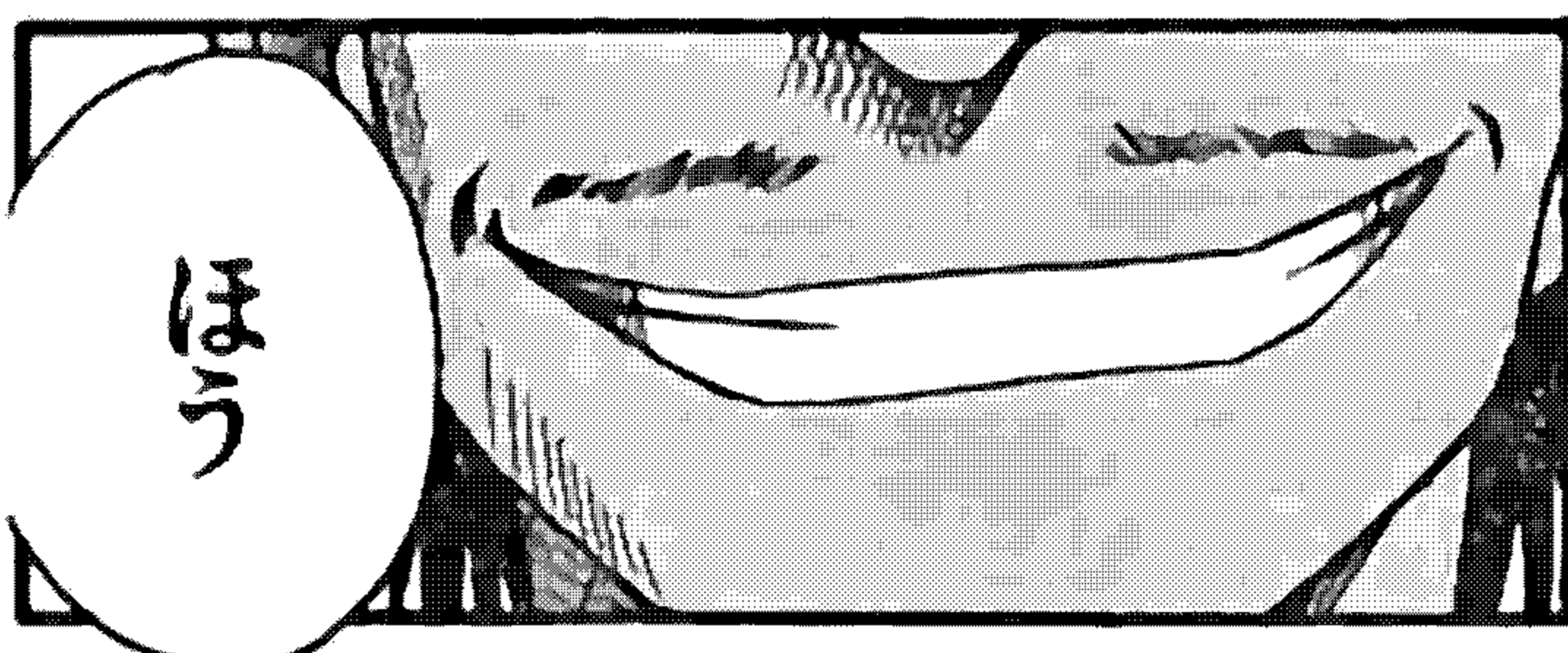




◆冬川基先生におたよりを

〒101-8305

株式会社メディアワークス
コミック電撃大王編集部



測ったようなタイミングで現れたのはやっぱりあの男…!?

